

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	日本事情	担当教員	佐竹直喜	
学年学科	4年 留学生	前期	必修	1単位
学習・教育目標	(B-1) 100%			
授業の目標と期待される効果: 日本の歴史・風土から、現代最新事情まで日本の歴史・風土から、現代最新事情まで日本の歴史・風土から、現代最新事情まで日本と人を取り巻く様々な問題や課題に 日本と人を取り巻く様々な問題や課題について、幅広知見を獲得する。またその理解を通じて日本語の運用能力高める。 ・ 日本の歴史や文化について基本的知識を身につける。 ・ 現代日本における様々な問題を理解す。 ・ 自分の出身国と日本違いを、様々な角度 分の出身国と日本違いを、様々な角度から客観的に理解する。 ・ 日本語でのプレゼンテーション能力を身につける。		成績評価の方法: 中間試験 100 点+期末試験 100 点 +課題・小テスト(50 点~100 点の範囲に収めるものとする) 得点率(%)で成績をつける。		
		達成度評価の基準: 日本の歴史や文化基的知識 ・ 現代日本の様々な問題 ・ 出身国と日本の違い ・ 日本語でのプレゼンテーション能力 を測定する試験で 6割以上きる こと。		
授業の進め方とアドバイス: 特定の教科書は指せず、授業ごとに材が提示される。幅広いテーマを扱うで普段から日本語新聞やニュース特定の教科書は指せず、授業ごとに材が提示される。幅広いテーマを扱うで普段から日本語新聞やニュース特定の教科書は指せず、授業ごとに材が提示される。幅広いテーマを扱うで普段から日本語新聞やニュースなどに接する機会を多くしておくこと。				
教科書および参考書:適宜プリントを使用				
授業の概要と予定:前期				ALのレベル
第 1回:日本の暮らし①				B
第 2回:日本の暮らし②				B
第 3回:日本の暮らし③				B
第 4回:日本の自然・地理①				B
第 5回:日本の自然・地理②				B
第 6回:日本の自然・地理③				B
第 7回:日本の自然・地理④				B
第 8回:中間試験				
第 9回:現代日本を取り巻く環境①				B
第10回:現代日本を取り巻く環境②				B
第11回:現代日本を取り巻く環境③				B
第12回:現代日本を取り巻く環境④				B
第13回:現代日本を取り巻く環境⑤				B
第14回:現代日本を取り巻く環境⑥				B
期末試験				
第15回:まとめ				B

評価(ルーブリック)

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	日本の歴史や文化に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	日本の歴史や文化に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	日本の歴史や文化に関する問題を解くことができない。
②	現代日本の問題に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	現代日本の問題に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる	現代日本の問題に関する問題を解くことができない。
③	出身国と日本の違いに関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	出身国と日本の違いに関する問題をほぼ正確(6割以上)に行なうことができる。	出身国と日本の違いに関する問題をほぼ正確に行なう
④	日本語でのプレゼンに関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	日本語でのプレゼンに関する問題をほぼ正確(6割以上)に行なうことができる。	日本語でのプレゼンに関する問題をほぼ正確に行なう